

まちの相談カレンダー

2月	2日	木	心配ごと相談	9:00 ~ 12:00	保健センター(社協事務局)
	7日	火	女性のための生き方なんでも相談	13:00 ~ 17:00	阿南市役所 5階
	8日	水	行政相談	13:00 ~ 15:00	由岐公民館
	9日	木	心配ごと相談、行政相談、介護相談	9:00 ~ 12:00	保健センター(会議室)
	10日	金	女性のための生き方なんでも相談	13:00 ~ 16:00	阿南市役所 5階
	14日	火	人権相談	13:00 ~ 15:00	由岐公民館
			女性のための生き方なんでも相談	13:00 ~ 16:00	阿南市役所 5階
	16日	木	心配ごと相談	9:00 ~ 12:00	保健センター(社協事務局)
	18日	土	女性のための生き方なんでも相談	13:00 ~ 15:00	オンライン対応
	21日	火	女性のための生き方なんでも相談	13:00 ~ 17:00	阿南市役所 5階
24日	金	女性のための生き方なんでも相談	13:00 ~ 16:00	阿南市役所 5階	
28日	火	女性のための生き方なんでも相談	13:00 ~ 16:00	阿南市役所 5階	

女性のための生き方なんでも相談は、事前予約が必要です。

【連絡先】
なんでも相談予約電話
☎ 0884-22-0361

※【南阿波定住自立圏共生ビジョン】
女性支援パートナーシップ事業です

美波町社会福祉協議会事務局は心配ごと相談を随時受付しております。

【連絡先】
美波町社会福祉協議会
/ ☎ 77-0342
由岐支所 / ☎ 78-1792
【受付日】
月～金 8:30 ~ 17:00
(土・日・祝祭日は休み)

心温かい人々が暮らす町

SDGsてなあと？人権とどう関係あるの？

“SDGs” は一言でいうと「世界共通の目標 ⇒ 持続可能な開発目標」です



2030年に向けた17の国際目標
「誰一人取り残さない持続可能な社会」
の実現を目指しています。

- 世界中で貧困や餓死する人がいなくなっていて
 - 子どもも高齢者も、男性も女性も性的マイノリティの方も、障がいのある方もない方も、みんなが楽しく暮らしていて
 - どの国もどんな人も、仕事もやりがいもあって、不平等なことがなくなっていて
 - 戦争や紛争なんかしないでみんなで協力しあって
 - 好きな街や環境がずっと続き、また豊かな自然もずっと続くようにしていく
- ↑ こんな社会を目指すために17の目標がかかげられています。

＜SDGs 17の目標＞

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを |
| 3. 全ての人に健康と福祉を | 12. つくる責任 つかう責任 |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 13. 気候変動に具体的な対策を |
| 5. ジェンダー平等を実現 | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に | 15. 陸の豊かさを守ろう |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナリシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

人が人らしく尊重され、暮らしていくためには欠かせないことばかりですね。

SDGsの目標である“地球上で誰一人として取り残されない社会”を目指すためには、排他的・攻撃的でなく、自分とは異なる物事(多様性)を受け入れることができる「寛容性(かんようせい)」を培う教育・啓発が重要となってきます。

また、最近では、血縁・地縁・社縁など様々な縁が希薄となり、「無縁(化)社会」が進行しています。そういう状況だからこそ、町民ひとりひとり、孤独や孤立、排除から援護し、社会(地域社会)の一員として取り込み、支え合う「社会的包摂(しゃかいてきほうせつ)」が今後は必要となってきます。一人ひとりがちょっと先の未来を想像し、今の自分が“持続可能な社会のためにできること”“人権を守るためにできること”を考えてみませんか。

法務大臣表彰を受賞されました！

長年にわたって人権擁護活動に顕著な功績が認められ、濱高マユミ氏が法務大臣表彰を受賞されました。



町民一人ひとりが相手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会をめざしましょう。
「心温かい人々が暮らす、にぎやかな過疎の町」美波町であり続けるために人権について考え守っていくことがまさに、“にぎやかそ”美波町まちづくりにつながります。このコーナーでは人権に対する思いを掲載していきます。



ウミガメ News Letter

ウミガメが産卵することで有名な美波町。ウミガメが身近な町ならではの、ウミガメ小話を紹介します。



●ウミガメあか落とし

毎年12月に「ウミガメのあか落とし」としてメディアにも取り上げて頂き、年末の風物詩となっているウミガメの甲羅洗い。年に一度のことと思われがちですが、実は毎週行なっています。

週に一度プールの水を抜いて水槽内の汚れを高圧洗浄機で落とし、ウミガメの体も隅々まで洗います。甲羅洗いをする理由は以前の広報「子ガメの甲羅洗い」でもお話ししましたが、カメは甲羅に日光が当たることで栄養吸収や病気予防するので、限られた空間で生活していることにより付着した汚れやコケがそれを妨げるので除去する必要があるからです。

では、自然界のウミガメはというと、、、魚や他の生物が甲羅に付着したものを食べてくれるので甲羅洗いは不要です。また、アオウミガメは甲羅を岩にこすりつけて汚れを落とす行

動をすることがあります。時々カレットのプールにいるアオウミガメでも同じような行動が見られ、体を上下左右に動かして甲羅を岩にこすりつける面白い姿が見られることもあります。週一度の甲羅洗いで最小限の手入れはできそうですがその反面、プールの水を抜くとウミガメ自身に全体重がかかってしまい、また外気温にさらされている最中、夏は暑く冬は寒く、変温動物であるカメにとっては負担になっているのが現状です。

今回の改修では屋外プールも見直すことになっており、掃除とプールの水を抜く回数を減らせるように、海水を循環濾過する装置を導入します。また冬の海水温を一定に保てるように加温装置も導入することで、ウミガメに快適に過ごしてもらえると期待しています。

(飼育員：長楽美保)

うみがめについて教えて!!

うみがめについて、「なんでだろう?」と感じたときは、ハガキまたは右記応募フォームから疑問をお送りください。お答えします!

〒779-2304 徳島県海部郡美波町日和佐浦370-4 うみがめ博物館 カレット「質問係」



応募フォーム